

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 日東富士製粉株式会社
 コード番号 2003 URL <http://www.nittofuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 近藤 和威
 (氏名) 松本 正

TEL 03-3553-8781

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	40,145	△6.4	2,209	8.1	2,441	9.0	1,713	51.6
21年3月期第3四半期	42,871	—	2,043	—	2,239	—	1,130	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	37.32	—
21年3月期第3四半期	24.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第3四半期	37,125		21,009		56.6		457.64	
21年3月期	36,077		19,772		54.8		430.58	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,009百万円 21年3月期 19,772百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
22年3月期	—	3.00	—		
22年3月期(予想)				4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	52,300	△7.8	2,320	9.0	2,580	9.4	1,820	51.0	39.64	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	46,923,646株	21年3月期	46,923,646株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,013,938株	21年3月期	1,003,876株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	45,915,738株	21年3月期第3四半期	45,933,939株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点での予測数値であり、将来の様々な要因により変動する場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当社グループの主力である「製粉及び食品業」につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が昨年4月と10月にそれぞれ平均14.8%、23%引き下げられたことに伴い、当社においても2度にわたる業務用小麦粉販売価格の改定を行いました。

当第3四半期の経営成績は、主力の小麦粉は新製品の開発や積極的な販売活動により売上数量は増加し、ミックス粉の売上も堅調に推移しましたが、販売価格の改定やふすま価格の下落が影響し、売上高、営業利益共に前年同期間比減少しました。

「外食事業」の(株)さわやか(当連結対象期間1月～9月)につきましては、不採算店舗の整理により売上高は減少しましたが、ケンタッキーフライドチキンの売上が好調であったことや、ローコストオペレーションの推進など業務効率の改善により、営業利益は前年同期間比大幅な増加となりました。

「その他の事業」の日東富士運輸(株)につきましては、連結対象となるグループ外からの運賃収入は減少しましたが、燃料費の値下がりや省エネ運転の実施、車両修理費用等のコスト軽減の取組みにより営業費用が減少し、営業利益は前年同期間比増加となりました。

以上の結果、当社グループの第3四半期業績は、売上高401億4千5百万円(前年同期比6.4%減)、経常利益24億4千1百万円(前年同期比9.0%増)となりました。また、特別利益等の増加により、四半期純利益17億1千3百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態は、総資産は受取手形及び売掛金が減少しましたが現金及び預金等の増加により前連結会計年度末比10億4千8百万円の増加となりました。純資産は利益剰余金の増加等により12億3千7百万円の増加となり、自己資本比率は1.8%上昇いたしました。

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、48億1千1百万円となり、前連結会計年度末より22億1千3百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少や仕入債務の増加等により、34億7千2百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、6億7千4百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金等の支払いにより、6億2千3百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月23日に公表しました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

退職給付会計における数理計算上の差異については、従来、その発生年度より5年による按分額を当該年数にわたって処理しておりましたが、親会社との会計方針の統一を図るため、当連結会計年度以降に発生する数理計算上の差異については、発生の翌年度より5年による按分額を当該年数にわたって処理する方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,191	2,678
受取手形及び売掛金	9,244	9,550
商品及び製品	2,245	2,298
原材料及び貯蔵品	1,709	1,708
その他	579	866
貸倒引当金	△25	△16
流動資産合計	18,946	17,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,466	3,649
機械装置及び運搬具(純額)	3,007	3,319
土地	4,219	4,219
リース資産(純額)	3	—
その他(純額)	249	270
有形固定資産合計	10,946	11,458
無形固定資産		
のれん	6	8
その他	526	535
無形固定資産合計	533	544
投資その他の資産		
投資有価証券	5,483	5,661
その他	1,318	1,428
貸倒引当金	△102	△101
投資その他の資産合計	6,699	6,988
固定資産合計	18,179	18,991
資産合計	37,125	36,077

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,681	2,285
短期借入金	3,300	4,102
リース債務	0	—
未払法人税等	518	372
賞与引当金	209	438
役員賞与引当金	20	37
その他	1,520	1,616
流動負債合計	8,251	8,854
固定負債		
長期借入金	5,350	4,800
リース債務	2	—
退職給付引当金	610	437
役員退職慰労引当金	184	190
負ののれん	743	840
その他	973	1,182
固定負債合計	7,864	7,450
負債合計	16,115	16,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	13,907	12,570
自己株式	△247	△244
株主資本合計	20,209	18,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	800	896
評価・換算差額等合計	800	896
純資産合計	21,009	19,772
負債純資産合計	37,125	36,077

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	42,871	40,145
売上原価	34,099	31,315
売上総利益	8,771	8,830
販売費及び一般管理費		
販売手数料	627	609
販売運賃	1,652	1,620
貸倒引当金繰入額	6	9
給料及び手当	1,621	1,585
賞与引当金繰入額	110	117
役員賞与引当金繰入額	22	20
退職給付引当金繰入額	97	168
役員退職慰労引当金繰入額	25	23
その他	2,563	2,466
販売費及び一般管理費合計	6,727	6,620
営業利益	2,043	2,209
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	87	90
負ののれん償却額	97	97
持分法による投資利益	—	38
その他	132	124
営業外収益合計	319	351
営業外費用		
支払利息	107	107
その他	15	12
営業外費用合計	123	119
経常利益	2,239	2,441
特別利益		
固定資産売却益	5	3
親会社株式売却益	19	—
投資有価証券売却益	—	221
貸倒引当金戻入額	2	2
特別利益合計	27	227
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	24	25
減損損失	120	8
店舗閉鎖損失	56	16
その他	41	4
特別損失合計	244	54
税金等調整前四半期純利益	2,023	2,615
法人税、住民税及び事業税	773	999
法人税等調整額	119	△98
法人税等合計	892	901
四半期純利益	1,130	1,713

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,023	2,615
減価償却費	918	882
減損損失	120	8
のれん償却額	2	2
負ののれん償却額	△97	△97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△214	△229
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15	172
受取利息及び受取配当金	△89	△92
支払利息	107	107
持分法による投資損益 (△は益)	—	△38
親会社株式売却益	△19	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△217
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△3
固定資産除却損	24	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,677	264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	81	61
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△208	267
仕入債務の増減額 (△は減少)	572	396
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△48	186
その他	69	10
小計	△446	4,324
利息及び配当金の受取額	88	108
利息の支払額	△106	△107
法人税等の支払額	△1,533	△853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,998	3,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△300
親会社株式の売却による収入	19	—
有形固定資産の取得による支出	△728	△640
有形固定資産の売却による収入	9	5
投資有価証券の取得による支出	△11	△115
投資有価証券の売却による収入	—	328
差入保証金の回収による収入	188	86
その他	△57	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△579	△674

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,600	△1,000
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△53	△252
配当金の支払額	△413	△367
自己株式の取得による支出	△5	△3
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,126	△623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548	2,169
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	43
現金及び現金同等物の期首残高	2,078	2,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,626	4,811

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位: 百万円)

	製粉及び 食品業	外食事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	37,972	4,667	231	42,871	—	42,871
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	1,725	1,732	(1,732)	—
計	37,979	4,667	1,957	44,603	(1,732)	42,871
営業利益又は営業損失(△)	1,999	△14	40	2,025	18	2,043

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位: 百万円)

	製粉及び 食品業	外食事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	35,362	4,589	193	40,145	—	40,145
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	1,769	1,776	(1,776)	—
計	35,368	4,589	1,963	41,921	(1,776)	40,145
営業利益	1,872	177	136	2,186	22	2,209

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。